

平成29年度事業実施状況について

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材・団体等を育成し、それらの積極的な活用を推進するため、次の事業を行った。

1 但馬ふるさとづくり大学事業

但馬の自然・歴史・文化・人物など多様な分野の学習を通して、但馬の再発見、地域に対する誇りや愛着心の醸成することなどを目的に13講座を実施した。

また、但馬の歴史遺産に学ぶ現地学習を行った。

さらに、夏休みに子供たちを対象とした「ふるさと但馬を学ぶジュニアセミナー」を開催した。

(1) 但馬ふるさとづくり大学

- ① 期 間 平成29年5月13日開講・11月4日閉講
- ② 会 場 養父市、豊岡市
- ③ 受講者数 93名 ※修了者59名（10講座以上出席者）
- ④ 講座内容 9日間13講座（現地学習含む）

開催日	内 容
5/13(土)	<開講式> ①『但馬の植物と暮らし』 講師 / 田丸 和美 氏（但馬高原植物園植栽主任）
6/3(土)	②『但馬の森林林業』 講師 / 伍々 博一 氏（北但西部森林組合代表理事組合長） ③『城崎の麦わら細工300年の歴史とシーボルトコレクション ～麦わら細工体験～』 講師 / 神谷 勝 氏（城崎麦わら細工技術者の会会長）
7/1(土)	<現地学習> ④『ふるさと但馬めぐり～近畿最古の芝居小屋に学ぶ～』 県重要有形文化財「出石永楽館」を訪ねる ⑤『伝統を活かした町づくり』 講師 / 赤浦 毅 氏（出石永楽館館長）
8/5(土)	⑥『自然と共生・共存』 講師 / 吉井 あゆみ 氏（お狩庵代表）
8/19(土)	<但馬文教府第50回夏期大学－特別講座－> 会場：豊岡市民会館 ⑦『今を生きる～人生は決断と実行の繰り返し～』 講師 / 高田 明 氏（株式会社ジャパネットたかた創業者） 『高齢をいかに生きる～世界一の長寿国家、日本～』 講師 / 金 美齡 氏（評論家）
9/2(土)	⑧『志村喬を知る～生野のガキ大将から世界の GREAT SIMURA へ～』 講師 / 宇治 紘三 氏（甲社宅運営委員会会長） ⑨『但馬と、ドイツと、それから私、みんなちがって、みんないい』 講師 / 池田 ビルギット 氏（ドイツ国家検定通訳・翻訳士）

9/10(日)	⑩ 第12回但馬検定試験
10/7(土)	⑪ 『若者が地域を変える』 講師 / 霜倉 和典 氏(農業生産法人 有限会社あした代表取締役) ⑫ 『茶すり山古墳と南但馬の王墓群』 講師 / 山下 史朗 氏(兵庫県教育委員会事務局文化財課課長)
11/4(土)	第一部：受講生自主研究発表会 ⑬ 第二部：『歌がうまれる・ふるさとが見える』 講師 / 里野 こみち 氏(里野こみちうた工房) <閉講式>

(2) 但馬ふるさとづくり大学聴講制度

仕事の都合等で多くの講座への継続的参加が難しい方にも学習の機会を提供するため、講座の中から興味のある講座だけを選んで受講できる聴講制度を導入した。

・受講実績 11講座35名



受講風景 (5/13 但馬高原植物園 田丸氏)



7/1 現地学習 (出石永楽館)

(3) ふるさと但馬を学ぶジュニアセミナー

- ① 日 程 平成 29 年 7 月 29 日 (土)
- ② 会 場 県立但馬牧場公園 (新温泉町)
- ③ 参加人員 36 名 (小学校 2～6 年)
- ④ 講座内容 但馬牛の説明、牛のブラッシング体験、ソーセージづくり体験



ジュニアセミナー (ソーセージづくり)



2 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげることを目的に実施した。

また、ミニ検定講座や検定事前講習会を開催するなど、検定のPRや裾野の拡大に努めた。

(1) 第12回但馬検定

① 試験日 平成29年9月10日(日)

② 試験場所 但馬長寿の郷

③ 試験結果

() 前回結果

区 分	1級(80点満点)	2級(80点満点)	3級(100点満点)	計
受 験 者 数	38人(35人)	48人(41人)	51人(80人)	137人(156人)
合 格 者 数	15人(18人)	38人(27人)	45人(69人)	98人(114人)
合 格 率	39.5%(51.4%)	79.2%(65.9%)	88.2%(86.3%)	71.5%(73.1%)
平 均 点	67.4点	66.9点	81.5点	
最 高 点	77点	80点	100点	
最年少合格者	36才	26才	16才	
最高齢合格者	72才	85才	75才	
合 格 基 準	70問以上/80問中	60問以上/80問中	70問以上/100問中	

- ④ 特 徴
- ・ 県外の受験者は東京都や和歌山県等から15人受験され、11人合格した。また、3級で初めて但馬在住の外国人の受験があり合格した。
 - ・ 受験者アンケートでは、「但馬を深く知ることができた」「現地に行ってみたくなった」などの回答が見られ、「さらに上級を受験したい」と意欲的な回答も多かった。



検定会場(9/10 但馬長寿の郷)



(2) 検定PR事業

各種イベント等でのPR及び団体を対象に検定を模擬的に体験するミニ検定講座の実施を実施するとともに、検定に向けた学習ポイントの解説を行う。

また、事前講習会を開催して但馬検定への受験意欲を高めた。

① ミニ検定講座

○平成29年5月30日 みてやま学園大学院基礎講座において検定模擬試験

② 事前講習会

○平成29年8月30日 じばさんTAJIMA(豊岡市)で実施 58人受講

○平成29年9月2日 但馬長寿の郷(養父市)で実施 58人受講

3 観光ガイド育成支援事業

但馬各地で活躍する観光ガイドの技術の向上や情報交換を図るため、観光ガイドとして必要な知識や技能等を学ぶ研修を実施するとともに意見交換の場を提供した。

- ① 開催日 平成 29 年 12 月 5 日
- ② 会場 じばさん TAJIMA (豊岡市)
- ③ 参加者 但馬地域で活動する(ボランティア)ガイド 16 名 (9 団体)
- ④ 講師 兵庫県認定ひょうご名物ガイド 西村 寿氏 (村岡観光協会)
- ⑤ 実施内容 観光ガイドの重要性・留意点、観光ガイドの実演、意見交換



II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1 たじま田舎暮らし推進事業

「たじま田舎暮らし情報センター」に専門の相談員を配置し、相談業務や情報提供を行うとともに、管内市町等と連携して下記の事業を実施した。

(1) 情報発信

たじま田舎暮らしポータルサイト「たじま暮らし」で IJU ターンに関する情報を積極的に発信した。また、より見やすく移住に関する情報が提供できるようサイトを全面リニューアルする。

- ・ ホームページによる情報発信 (H29.12 末現在)

ユニークアクセス PV 数	60,888 件 (61,251 件)	前年同期比 99.4%
ユニークアクセス訪問者数	17,643 件 (21,088 件)	前年同期比 83.7%

(2) 移住相談員の配置

但馬の移住ガイドブックを活用し、田舎暮らしの PR イベント・相談会に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供した。

- ・ 首都圏及び京阪神でのイベント及び相談会等
ふるさと回帰フェア大阪 ほか 6 回、相談件数 69 件 (H29.12 末現在)

(3) 移住体験ツアーの実施

移住に関心のある者を対象に先輩移住者との意見交換、子育て支援施設・空き家の見学、街並みの見学などを行う体験型バスツアーを実施した。

- ① 実施日 平成 29 年 7 月 15 日 (土) ~ 16 日 (日)
- ② 場所 香美町、新温泉町
- ③ 参加者 8 家族 22 名
(尼崎市、川西市、加古川市、大阪府、京都府、和歌山県)
- ④ 内容 空き家物件見学、お試し住宅見学、田舎暮らしセミナー、先輩移住者との交流会、木工ワークショップ、子育て施設の見学 等



移住体験ツアー(空き家見学)



(4) ひょうご北部移住&仕事フェアの実施

移住後の仕事についてもワンストップで相談できる移住・しごとフェアを管内市町やハローワーク、農林漁業の各組合など 15 団体が出展して大阪で開催した。

- ① 実施日 平成 29 年 11 月 26 日 (土)
- ② 場 所 OMMビル (大阪市)
- ③ 参加者 75 組 132 名



個別相談及びトークセッション



(5) 近隣府県と連携した移住・定住対策の実施

社会・経済的に広域的な繋がりのある京都府、鳥取県と連携した移住・定住対策事業を実施する。

- ① 但丹セミナー (京都府との連携事業)
 - ・実施日 平成 29 年 10 月 28 日 (土)
 - ・場 所 HELLO life (大阪市)
 - ・参加者 16 組 16 名
- ② いなば・たじまカフェ1 (鳥取県との連携事業)
 - ・実施日 平成 29 年 12 月 16 日 (土)
 - ・場 所 大阪ふるさと暮らし情報センター (大阪市)
 - ・参加者 6 組 8 名

③ いなば・たじまカフェ2（鳥取県との連携事業）

- ・実施日 平成30年2月3日（土）
- ・場 所 L a r g o（大阪市）
- ・参加者 20組28名



ゲストとのトークセッション



ワールドカフェ

（6）コンシェルジュ活動支援事業

但馬地域の交流人口の拡大、IJU ターン等の移住を促進するため、移住支援活動を行う事業者に助成を行う。

助成金申請件数 1件

移住体験ツアー（朝来市）

2 但馬四季彩イベント事業

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催される広域的で大規模なイベントについて、その実行委員会に対して支援を行った。

（1）但馬“牛まつり”

- ① 開催日・来場者 平成29年9月24日（日） 16,000人
- ② 助成金額 2,600千円
- ③ 開催場所 兵庫県立但馬牧場公園

（2）但馬・食文化まつり

- ① 開催日・来場者 平成29年10月14日（土）～15日（日） 26,000人
- ② 助成金額 2,600千円
- ③ 開催場所 朝来市和田山中央文化公園

3 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

（1）ホームページ「但馬情報特急」の運営・充実

但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を、多分野にわたり収集し提供した。

- ・ アクセス数（H29.12末現在）

ユニークアクセス	PV数	864,134件(931,937件)	前年同期比	92.7%
ユニークアクセス	訪問者数	382,098件(396,503件)	前年同期比	96.4%

(2) 地域情報発信事業

① 但馬ツーリズムマップ(vol. 12)の制作

但馬の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的にマップを制作した。発行経費を下げるために広告を導入するとともに、観光客や企業から好評を得ていることから発行部数を増やした。

- ・部数 15,000部
- ・配布先 JRの各駅、道の駅、宿泊施設、観光施設など

② 英語版まち歩きガイドの制作

但馬を訪れた外国人観光客が、訪問先で使うことのできる「まち歩きガイド」を27、28年度に引き続き制作した。

- ・部数 3,000部
- ・サイズ等 A4両面
- ・内容 出石エリアの紹介
出石中心部の散策マップ、二次アクセスの紹介
- ・配布先 主要なJR駅、宿泊施設、観光協会、出石地内飲食店など

(3) 情報誌「T2」発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年3回(6月、11月、3月)
- ② 発行部数 各9万部
- ③ 仕様 A4判カラー印刷(20ページ)
- ④ 配布先 但馬内7万部、但馬外2万部配布
※ 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、近隣官公庁、金融機関、旅行社、報道機関など
- ⑤ プレゼント企画 誌面上で但馬検定ミニクイズを実施。年3回、各50名に但馬の特産品(主に食品)をプレゼント。
※29年度2回実施、応募総数311名

(4) ラジオ番組提供

阪神間へ但馬の最新の地域情報を提供するため、但馬の観光情報や四季折々の話題を現地からラジオの生中継により発信を行った。

- ① 提供番組 ラジオ関西「おもしろ但馬とおき情報」(各8分間)
- ② 放送日時 4月20日 「2017たんとうチューリップまつり」
7月26日 夢但馬周遊バス「たじまわる鉱石の道号」スタート・明延探検坑道
9月5日 竹田城跡雲海シーズン到来
11月6日 「かすみ松葉ガニ初セリまつり」

(5) その他の地域情報発信事業

① 但馬まるごと感動市へのブース出展

- ・日時 平成29年11月11日(土)～12日(日)
- ・場所 全但バス但馬ドーム
- ・内容 但馬ファンクラブPR、但馬田舎暮らしイベント広報、観光パンフレットの配布

- ② 神戸ルミナリエ観光ブースの活用
 - ・日 時 平成 29 年 12 月 13 日（水）
 - ・場 所 神戸東遊園地内
 - ・内 容 但馬ファンクラブPR、観光パンフレットの配布、但馬の認知度アンケート

4 首都圏PR推進事業

「誘客」に対する取組みをテーマに、首都圏での大規模観光イベントへの参加や、メルマガジンの配信など効果的な情報発信を行った。

(1) ツーリズム EXPO ジャパン 2017 への参加

- ① 日 程 平成 29 年 9 月 21 日（木）～9 月 24 日（日）
- ② 場 所 東京ビッグサイト
- ③ 内 容 ブース出展：観光案内、特産品（地酒・米粉スイーツ・朝倉山椒等）PR、日本酒試飲・米粉スイーツ試食、但馬の認知度アンケート、クイズラリー等実施。
国内商談会：養父市、朝来市、ブルーリッジホテル出展
- ④ 来場者 一般・観光関係団体・観光事業者等 191,577 人



ツーリズム EXPO ジャパン 2017



日本酒試飲



来場者記念撮影

(2) 情報発信

メルマガ会員（12 月末：1,695 人）へ月 2 回ペースでメルマガなど首都圏へ向けた情報発信を行った。

5 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともにイベント会場などで会員を募集した。

(1) 加入状況

区分	但馬内	但馬外				合計	1年会員	3年会員
		県内： 但馬除	近畿内： 県内除	近畿外	小計			
H29.3 末	883	746	302	193	1,241	2,124	1,101	1,023
H29.12 末	872	973	338	218	1,529	2,401	1,421	980
増減	△ 11	227	36	25	288	277	320	△ 43

(2) 会員に対する特典の付与

- ① 施設利用（12月末217施設）の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品プレゼント
年4回、各50名に特産品が当たるプレゼント企画を実施する。
※29年度 応募者対象2回（応募総数642名）、全会員対象1回実施済み
- ④ 但馬のミュージアム招待券配付
但馬内の8つの美術館等で無料入館できる招待券を提供した。
 - ・実施期間 平成29年4月8日（土）～11月5日（日）
 - ・対象施設 植村直己冒険館 ほか7施設
 - ・来場者数 237人

(3) 入会PR事業

各種事業とのコラボレーションにより会員獲得に努めた。

- ① 各種事業との連携によるプレゼント企画
 - ・但馬検定事業との連携 1,2級合格者への特典 新規加入48名
 - ・周遊バス「たじまわる」乗客の応募の中から抽選 新規加入10名
 - ・播但道路利用キャンペーンとの連携 応募者の中から抽選 新規加入100名
- ② その他イベントでの勧誘活動等
 - ・但馬まるごと感動市(H29.11.11～12)
 - ・神戸ルミナリエ アンケートプレゼント(H29.12.13)

Ⅲ 自然と調和した新しい但馬づくりのための自然環境保全活動に関する事業

自然環境保全運動等のための地域住民運動を盛り上げ、但馬の美しい自然環境を積極的に守るため、次の事業を行った。

1 魅力ある但馬の森・川・海・里環境保全事業

(1) クリーン但馬支援事業

環境美化活動等を行うクリーン但馬10万人大作戦に要する経費の一部を助成した。

- ・助成団体 クリーン但馬10万人大作戦推進協議会
- ・助成金額 100千円

(2) サケ回帰促進支援事業

河川・水質環境保全運動の普及啓発を目的に、地域の子どもたちにサケの発眼卵を提供し、放流を通して自然環境学習を行うサケ回帰促進事業に要する経費の一部を助成した。

- ・助成団体 岸田川漁業協同組合
- ・助成金額 150千円

2 その他但馬ふるさとづくり事業

(1) 自然環境学習事業

ホームページ但馬情報特急内の子どもが自然環境学習できるコーナー「たじまのしぜん」をNPOコウノトリ市民研究所に運営委託した。

- ・投稿回数 毎月4件以上
- ・委託料 120千円（10千円/月）

IV 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1 理事会

(1) 第52回理事会

・期日等 平成29年5月17日(水)
じばさんTAJIMA

(2) 第53回理事会

・期日等 平成29年6月22日(木)
定款第30条第2項の規定に基づく決議省略による決議

(3) 第54回理事会

・期日等 平成29年7月31日(月)
定款第30条第2項の規定に基づく決議省略による決議

(4) 第55回理事会

・期日等 平成30年2月20日(火)
じばさんTAJIMA

2 評議員会

(1) 第15回評議員会

・期日等 平成29年6月15日(木)
じばさんTAJIMA

(2) 第16回評議員会

・期日等 平成29年8月3日(木)
定款第18条第4項の規定に基づく決議省略による決議

(3) 第17回評議員会

・期日等 平成30年3月8日(木)
じばさんTAJIMA